

草の根・人間の安全保障無償資金協力5件の贈与契約に署名

2022年10月19日、アゼルバイジャン国内で実施される「草の根・人間の安全保障無償資金協力」5件について、各案件の被供与団体代表と和田大使が贈与契約に署名しました。5件の供与限度額の総額は446,806米ドルに及びます。

今回の署名をもって、これまでアゼルバイジャンで署名された草の根無償資金協力による事業は総件数283件にのぼり、供与総額は2,389万米ドル（約25億円）を超えています。

署名後に行われた意見交換会では和田大使から、「今後、草の根無償をさらに幅広い分野で実施していきたいと考えている。案件の多様化、日本製品の活用を意識した案件の申請を期待している。」と述べました。また、各被供与団体の代表及び式典に参加したTABIB（地域医療管理庁）の代表は、日本政府からの草の根無償資金協力に対して謝意を表明しました。



今回の贈与契約署名案件

プロジェクト名	団体名	金額 (米ドル)
カザフ県・サムフ県救急車両整備計画	市民社会開発支援・西部資源公共団体	88,996
ホジャバンド県新ホジャバンド村学校校舎増築及び改修計画	アゼルバイジャン地域開発調査・訓練・人材センター	91,297
アグダシュ県アシャギ・ネメタバド村家庭保健センター建設計画	アグダシュ県中央病院	90,000
ネフチャラ県ギリミズケンド村学校校舎増築計画	アゼルバイジャン研究者、博士、修士公共ユニオン	90,513
レリキ県ソル村診療所建設計画	プライオリティー社会経済研究センター	86,000
合計		446,806

各案件の概要

カザフ県・サムフ県救急車両整備計画

本案件は、カザフ県ユハリ・サラフル村及びサムフ県ポイル村の診療所にそれぞれ救急車両1台を整備することで、両県の遠隔地域での医療サービスの改善を図り、もって救急医療を含む医療アクセスの向上に寄与することを目的としています。供与される救急車両は、両県の遠隔地域での活用が想定されており、悪路にも対応できるよう三菱自動車工業社製(日本)のピックアップトラックを救急医療仕様に改造して利用されます。カザフ県とサムフ県の中央病院は、本案件の実施に伴い、救急車両の乗組員(ドライバー1名、看護師2名)を両村の診療所へ派遣する計画です。

ホジャバンド県新ホジャバンド村学校校舎増築及び改修計画

本案件は、ホジャバンド県からの国内避難民居住区にある新ホジャバンド村学校の校舎敷地内に、新たに校舎1棟(面積:251.88 m²)を増築すると同時に既存の校舎にガス暖房システムを導入するものです。新校舎には教室6室と男子トイレ及び女子トイレが整備され、水道、電気、ガス暖房を整備する計画です。なお、既存の校舎は、2007年に同じく日本大使館の草の根・人間の安全保障無償資金協力により建設されたものですが、対象地域の人口増加に伴い、教室数が不足していました。2007年及び今回の案件は、同村及び隣村の新・ツグ村の教育環境の改善を図り、国内避難民の子供の教育機会の確保に寄与することを目的としています。

アグダシュ県アシャギ・ネメタバド村家庭保健センター建設計画

本案件は、老朽化したアシャギ・ネメタバド村家庭保健センターを解体し、新たに家庭保健センターを建設することにより、医療環境の改善を図り、もって同村及び隣村6村(ユハリ・ネメタバド村、ゴブウストゥ村、アシャギ・ゴブウストゥ村、ガリブリ村、ハジラル村、イエニカンド村)の住民の健康維持・増進に寄与することを目的としています。本案件は、アグダシュ県中央病院が被供与団体として、在アゼルバイジャン日本大使館へ草の根無償資金協力の申請を行いました。

ネフチャラ県ギリミズケンド村学校校舎増築計画

本案件は、ネフチャラ県ギリミズケンド村のギリミズケンド村学校に校舎(面積 284 m²)を増築することにより、教育環境の改善を図り、もって地方部の児童の教育機会の確保に寄与することを目的としています。ギリミズケンド村学校は、対象地域の人口増加に伴う教室不足、冬季の寒さ対策を課題としており、日本大使館への支援要請に至りました。建設される新校舎には、7室の教室、男子トイレ及び女子トイレが含まれており、電気、水道、ガスが整備され、冬季の厳しい寒さに対応するため、セントラルヒーティング(ガスボイラ一式)が整備されます。

レリキ県ソル村診療所建設計画

本案件は、レリキ県ソル村に1階建ての診療所(面積:117 m²)を建設することにより、同村の医療環境の改善を図り、もってソル村及び隣村2村(ディアマシャイル村、アルダビレ村)の住民の健康維持及び増進に寄与することを目的としています。これまでソル村診療所は、空き家となっている民家の一室を利用し運営されており、提供可能な医療サービスに制限がありました。建設される診療所には検査室、ワクチン接種室、婦人課室、小児科室が含まれており、レリキ県中央病院が必要な人材と機材を提供します。ソル村は、レリキ県庁所在地から北へ約15kmの山間部に位置し、同県中央病院へのアクセスが悪く、設備の整った診療所が必要とされていました。